

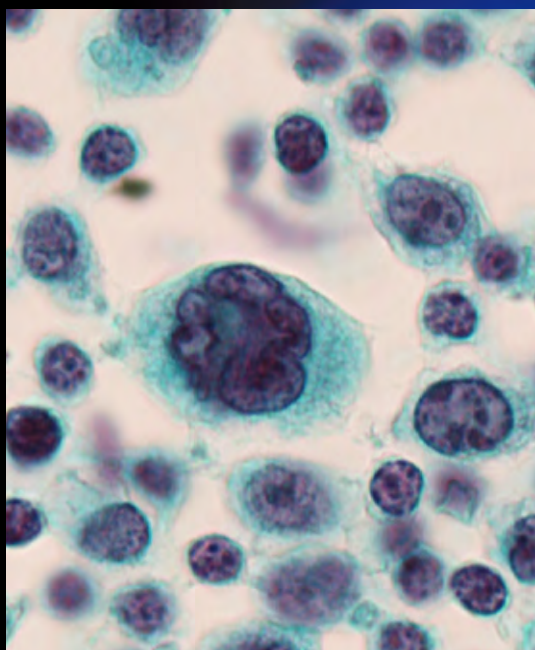
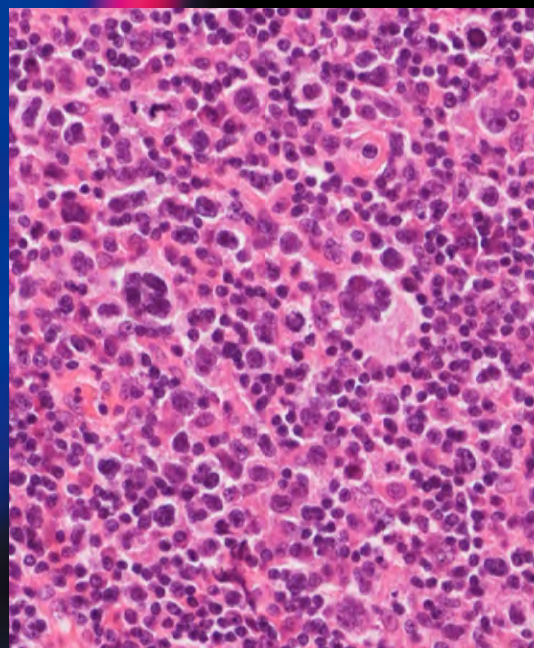
ONLINE ISSN 1882-7233
PRINT ISSN 0387-1193

日 臨 細 胞 誌
J.Jpn.Soc.Clin.Cytol.

第58巻 第5号 令和元年9月

日本臨床細胞学会雑誌

THE JOURNAL
OF THE JAPANESE
SOCIETY OF CLINICAL
CYTOLOGY



公益社団法人
日本臨床細胞学会

<http://www.jscc.or.jp/>

Vol.58 No. **5**
Sept. 2019

目 次

巻頭言.....佐藤 之俊

〈原 著〉

- 子宮頸部細胞診における ThinPrep® Integrated Imager の有用性について
.....大阪警察病院病理科 金田 敦代・他 （189）
- 子宮体癌の術前子宮鏡検査と腹腔細胞診
.....慶應義塾大学医学部産科婦人科学教室 平野 卓朗・他 （196）
- 肺腺癌由来の悪性胸水セルブロック検体を用いた *EGFR* 遺伝子変異,
ALK, PD-L1 タンパク発現状態の検討
.....山形県立中央病院病理診断科 柳川 直樹・他 （202）

〈症 例〉

- 自然尿中に腫瘍細胞を認めた肺原発腺癌膀胱転移の 1 例
.....独立行政法人地域医療機能推進機構埼玉メディカルセンター病理診断科 河村 憲一・他 （208）
- TP63* の再構成を認めた ALK 陰性未分化大細胞型リンパ腫における細胞診断学的検討
.....埼玉医科大学総合医療センター病理部 大野 優子・他 （214）

〈短 報〉

- ホルマリン固定組織からの LBC 標本作製法
.....大阪府済生会中津病院検査技術部 谷村満知子・他 （220）

投稿規定.....(222)

編集委員会.....(229)

＊

〈表紙写真〉

ALK 陰性未分化大細胞型リンパ腫
(左：パパニコロウ染色，右：H-E 染色) (大野 優子・他，左：Photo. 1c, 215 頁，右：Photo. 2a, 216 頁)

CONTENTS

Editorial.....	Yukitoshi Satoh
----------------	-----------------

Original Articles

Benefits of the ThinPrep® Integrated Imager for cervical cytology Atsuyo Kaneda, et al. (Dept. of Path., Osaka Police Hosp., Osaka)	(189)
Impact of preoperative hysteroscopy on outcomes of peritoneal cytology in patients with endometrial cancer Takuro Hirano, et al. (Dept. of Obst. & Gynecol., Keio Univ. School of Med., Tokyo)	(196)
Analyses of epidermal growth factor receptor mutations and anaplastic lymphoma kinase and programmed death ligand 1 expression using cytology cell blocks of malignant pleural effusion derived from lung adenocarcinomas Naoki Yanagawa, et al. (Dept. of Diag. Path., Yamagata Pref. Central Hosp., Yamagata)	(202)

Clinical Articles

A case of metastatic adenocarcinoma in the urinary bladder from primary lung cancer ——The urinary cytology and histological findings—— Ken-ichi Kawamura, et al. (Dept. of Diag. Path., Saitama Med. Center, JCHO, Saitama)	(208)
A case report of ALK-negative anaplastic large cell lymphoma (ALCL) with <i>TP63</i> rearrangement Yuko Ohno, et al. (Dept. of Path., Saitama Med. Center, Saitama Med. Univ., Saitama)	(214)

Brief Note

Technique for preparation of liquid based cytology specimens from formalin-fixed tissue Machiko Tanimura, et al. (Dept. of Clin. Lab., Osaka Saiseikai Nakatsu Hosp., Osaka)	(220)
---	-------

Notice to contributors.....	(222)
-----------------------------	-------

Cover Photo

ALK-negative anaplastic large cell lymphoma (Left : Pap. stain, Right : H-E stain) (Yuko Ohno, et al., Left : Photo. 1c, p215, Right : Photo. 2a, p216)	
--	--



巻頭言

Yukitoshi Satoh

佐藤之俊

日本臨床細胞学会理事長

▶ 日本臨床細胞学会雑誌への期待



日本臨床細胞学会雑誌第58巻第5号の発行にあたり、矢納編集委員長より巻頭言の依頼が届きました。その理由を推察するに、私が今年度から本学会の理事長を拝命し、所信表明した課題の一つに、「細胞診に関する情報を発信する」ために、学会雑誌の内容とあり方を見直し、診療、研究、教育面での支援を強化していきたいと表明したからだと思います。

日本臨床細胞学会にとって、日常の細胞診業務における情報を発信すること、研究成果を発信すること、それに加えて、研究や細胞診における国際的な協力体制を推進することは公益法人としての使命だと考えます。この情報発信のツールとして重要なのが、学会の学術的な顔であり機関誌である「日本臨床細胞学会雑誌」です。この学会雑誌は、私が編集委員長時代に電子化を推進した結果、利便性が増した半面、印刷媒体が廃止され、細胞診に興味のある人は自ら能動的に情報を収集しなければならないという状況に変化しました。医学雑誌の電子化は医学会全体では避けることのできない方向性でしたが、投稿数が減少し、学術的な活動に危機感を感じているのは私だけではないと思います。

本学会の活動は、ご存知のように細胞検査士と細胞診専門医という両輪からなり、我が国におけるがん検診や多くの診断に貢献しています。現在、疾患の細胞診断に加え、細胞における分子発現や遺伝子異常の解析や、ゲノム情報による診断も取り入れられています。このように、医療の急速な変化に対応し、臨床現場に速やかに還元される医療を細胞診の立場から提供しなければなりません。そして、これらを広く発信していくのが日本臨床細胞学会雑誌の主たる役割だと考えます。

そこで、今回の編集委員会はメンバーの多くを刷新し、若手を起用し、立て直しを図ることにいたしました。矢納先生にはその先頭に立って進んで頂きたいと期待しています。また、定款施行細則「評議員選任に関する施行細則」第1章 評議員の被選任条件にあるように、本学会評議員は原則として査読を行うという責務を有しています。ここで、査読や編集に従事する方々にお願ひがあります。本学会雑誌は「日本医学会分科会機関誌」の1つです。日本医学会分科会が発行する機関誌の編集者により日本医学雑誌編集者会議 (Japanese Association of Medical Journal Editors : JAMJE) という組織が構成されていま



す。JAMJE の活動目的として、1) 医学雑誌と編集者の自由と権利の擁護、2) 医学雑誌の質の向上への寄与、3) 著者と医学雑誌・編集者の倫理規範の策定、4) 海外の編集者会議との連携の4項目が掲げられています。さらに、JAMJE はその活動目標に即した編集方針を作成するための医学雑誌編集ガイドラインを作成し、発表倫理や医学雑誌の質の向上に対応しています。このガイドラインの中で、私が強調したいのは、当たり前かもしれませんが、

- ①編集者は、雑誌の内容に関して誠実性 (honesty) と公正性 (integrity) を保証し、バイアスを最小にすること。情報の機密性を守ること。
- ②査読者は、原稿を評価してコメントを作成することにより原稿の改善を助長すること、投稿原稿がその雑誌に掲載するのが適切であるかを編集者に提言すること、そして、査読期限を守ること、原稿に関する機密を保持すること、偏見的や侮蔑的なコメントをしないこと。

です。これらは http://jams.med.or.jp/guideline/jamje_201503.pdf に公開されています。

さて、今回の第5号をみてみよう。矢納編集委員長になって初めての雑誌です。内容は原著3編、症例2編、短報1編という構成で、術前子宮鏡検査による腹腔細胞診への影響を検討したもの、自動スクリーニング支援装置の有用性の検討、細胞診セルブロックを用いたバイオマーカーの測定、ALK 陰性未分化大細胞型リンパ腫症例、肺原発腺癌膀胱転移という希少症例、さらには、ホルマリン固定組織からの LBC 標本作製法について、などいずれも医療現場に還元される意義の深い力作揃いです。新たな雑誌の時代を感じさせる内容だと思うのは私だけではないと思います。

最後に、日本臨床細胞学会会員を主体として、多くの研究成果や症例報告などが雑誌に寄せられ、編集委員と評議員を中心に、「日本臨床細胞学会雑誌」が新たなフェーズで発展していくことを大いに願ってやみません。

日本臨床細胞学会雑誌投稿規定

1. 投稿資格

原則として投稿者は共著者も含め日本臨床細胞学会会員に限る。ただし、画像診断、治療などに直接関わった医師（2名以内）はこの限りではない。

2. 掲載論文

- 1) 論文の種別は総説、原著、調査報告、症例報告、特集、短報、読者の声である。
- 2) 投稿論文は臨床細胞学の進歩に寄与しうるもので、他誌に発表されていないものに限る。
- 3) 論文作成に際しては、プライバシー保護の観点も含め、ヘルシンキ宣言（ヒトにおける biomedical 研究に携わる医師のための勧告）ならびに人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省、厚生労働省（平成 26 年 12 月 22 日、平成 29 年 2 月 28 日一部改正））が遵守されていること。
※これらの指針は、学会誌 1 号に記載。
- 4) 論文の著作権は本学会に帰属し、著者は当学会による電子公開を承諾するものとする。セルフ・アーカイブ（自身のホームページ、所属機関のリポジトリなど）においては表題、所属、著者名、内容抄録の公開は学会誌の発行の後に認められる。
- 5) 論文投稿に際し、著者全員の利益相反自己申告書（様式 2）を添付すること。なお、書式は <http://jscc.or.jp/coi/> からダウンロードし用いる。この様式 2 の内容は論文末尾、文献の直前の場所に記される。規定された利益相反状態がない場合は、同部分に、「筆者らは、開示すべき利益相反状態はありません。」などの文言を入れる。

3. 投稿形式

- 1) 原則として“電子投稿”とする。
- 2) 電子投稿の際には、以下のサイトからアクセスする。
<https://www.editorialmanager.com/jjscc/>

4. 執筆要項

- 1) 文章と文体
 - (1) 用語は和文または英文とする。
 - (2) 平仮名、常用漢字、現代仮名づかいを用いる。ただし、固有名詞や一般に用いられている学術用語はその限りではない。英文での投稿原稿の場合も和文の

場合に準ずる。

- (3) 度量衡単位は cm, mm, μm , cm^2 , ml, l, g, mg など CGS 単位を用いる。
 - (4) 外国人名、適当な和名のない薬品名、器具および機械名、または疾患名、学術的表現、科学用語については原語を用いる。大文字は固有名詞およびドイツ語の名詞の頭文字に限る。
 - (5) 医学用語は日本臨床細胞学会編集の「細胞診用語解説集」に準拠すること。また、その略語を用いても良いが、はじめに完全な用語を書き、以下に略語を用いることを明らかにする。
- 2) 原稿の書き方（電子投稿でない場合）
- 原稿はワープロを用い、A4 判縦に横書きし、1 行 25 字で 20 行を 1 枚におさめる。上下左右に 30mm 程度の余白をとり、左揃えとする。文字は 12 ポイント相当以上を用いるのが望ましい。
- 3) 電子ファイル
- 以下の電子ファイル形式を推奨する。
- Word, WordPerfect, RTF, TXT, LaTeX2e (英文のみ), AMSTeX, TIFF, GIF, JPEG, EPS, Postscript, PICT, PDF, Excel, PowerPoint.
- なお、写真の解像度は、雑誌掲載サイズで 300dpi 以上が目安である。
- 4) 総説・原著・調査報告・症例報告・短報論文の様式
- (1) 構成

タイトルページ、内容抄録、索引用語 (key words)、本文、利益相反状態の開示、英文抄録、文献、写真、図、表の順とする。原稿には通し頁番号をふる。タイトルページ（1 枚目）には、当該論文における修正稿回数（初回、修正 1 など）、論文の種別（原著、症例報告、短報など）、和文の表題（50 字以内）、著者名、所属のほか論文別刷請求先、著作権の移譲と早期公開に対する同意を明記する。

2 枚目には内容抄録、索引用語を記載する。本文は内容抄録とは別に始める。

- (2) 著者
- 著者名は直接研究に携わった者のみに限定する。著者数は以下のとおりとし、それ以外の関係者は本文末に謝辞として表記されたい。

原著：12 名以内

調査報告：10 名以内
症例報告：10 名以内
短報：6 名以内
総説：1 名を原則とする

(3) 内容抄録

短報を除いて 500 字以内にまとめ、以下のような小見出しをつける。

原著と調査報告：目的、方法、成績、結論
症例報告：背景、症例、結論
総説と特集：論文の内容に応じて適宜設定

(4) 索引用語

論文の内容を暗示する英語の単語 (Key words) を 5 語以内で表示する。原則として、第 1 語は対象、第 2 語は方法、第 3 語以下は内容を暗示する単語とする。

key words 例：

胆嚢穿刺吸引細胞診—胆嚢癌 4 例の細胞像と組織像—

Gallbladder, Aspiration, Cancer, Morphology
肝細胞癌についての 1 考察

Hepatocellular carcinoma, Morphology, Review
喀痰中に卵巣明細胞腺癌細胞が見出されたまれな 1 例

Clear cell adenocarcinoma, Cytology, Sputum,
Metastasis, Case report

(5) 本文および枚数制限

a. 原著・総説・調査報告

本文、文献を含め 10,000 字以内 (A4 判 20 頁) とする。

図・表 (写真を含まず) は、10 枚以内とする。
写真の枚数に制限はないが、必要最少限の枚数とする。

b. 症例報告

本文、文献を含め 6,000 字以内 (A4 判 12 頁以内) とする。

図・表 (写真を含まず) は、5 枚以内とする。
写真の枚数に制限はないが、必要最少限の枚数とする。

c. 短報

出来上がり 2 頁以内とする。

写真は 2 枚以内 (組み合わせは各々 2 枚以内)、
図表は計 1 枚までとする。

写真 2 枚と図表 1 枚が入った場合の本文 (I. はじめに～) と文献は 1,500 字程度 (A4 判 3 頁) を目安とする。

(6) 英文抄録

本文とは別紙に、表題の英訳およびローマ字つづりの著者名、所属の英文名、および抄録内容を記す。著者名のあとに、以下の略号を用いてそれぞれの称号あるいは資格を付記する。

医師：M. D., M. D., M. I. A. C., M. D., F. I. A. C.

歯科医師：D. D. S. とし、それ以外の称号あるいは資格は医師と同様に付記する。

臨床検査技師：M. T., C. T., J. S. C., C. T., I. A. C., C. T., C. M. I. A. C., C. T., C. F. I. A. C. などを記載する。
抄録内容は英語で 200 語以内 (ただし表題、著者名、所属名はのぞく) とし、以下のような小見出しをつけてまとめる。

原著と調査報告：Objective, Study Design, Results, Conclusion

症例報告：Background, Case (または Cases), Conclusion

総説：論文の内容に応じて適宜設定

短報：小見出しをつけずに 100 語以内にまとめる

(7) 文献

a. 主要のものに限る。

原著・特集・調査報告：30 編以内

症例報告：15 編以内

短報：5 編以内

総説：特に編数の制限を定めない

b. 引用順にならべ、本文中に肩付き番号を付す。

c. 文献表記はバンクーバー・スタイルとし、誌名略記について和文文献は医学中央雑誌刊行会、英文文献は Index Medicus に準ずる。参考として以下に例を記載する。

【雑誌の場合】

著者名 (和名はフルネームで、欧文名は姓のみをフルスペル、その他はイニシャルのみで 6 名まで表記し、6 名をこえる場合はその後を“・ほか”, “et al”と略記する)。表題 (フルタイトルを記載)。雑誌名 発行年 (西暦); 巻: 頁—頁。

【単行本の場合】

著者名。表題。発行地: 発行所; 発行年 (西暦)。なお、引用が単行本の一部である場合には表題の次に編者名、単行本の表題を記し、発行年。頁—頁。他者の著作物の図表を論文中使用する場合は、原著者 (あるいは団体) より投稿論文を電子公開することを含めた許諾が必要で、これを証明する書類を添付する。

(8) 図・表・写真

a. 図、表は英文で作成する。写真、図、表は Photo.

1, Fig. 1, Table 1 などのようにそれぞれの番号をつけ、簡単な英文のタイトルと説明を付記する。

b. 本文中には写真、図、表の挿入すべき位置を明示する。

c. 顕微鏡写真には倍率を付する。光顕写真（細胞像、組織像）の倍率は撮影時の対物レンズ倍率を用いるが、写真へのスケールの挿入が好ましい。電顕写真については撮影時の倍率を表示するか、または写真にスケールを入れる。

5) 特集論文の様式

一つのテーマのもとに数編の論文（原著ないし総説）から構成される。特集企画者は、特集全体の表題（和文および英文）および特集の趣旨（前書きに相当）を1,200字以内にまとめる。原稿の体裁は原著・総説に準じる。

6) 読者の声

以上の学術論文に該当しないもので、本誌掲載論文に関する意見、本学会の運営や活動に関する意見、臨床細胞学に関する意見を掲載する。ただし、他に発表されていないものに限る。投稿は以下の所定の書式・手順による。

(1) 表題は和文50字以内とする。表題に相当する英文も添える。

改行して本文を記述する。

末尾に著者名（資格も付記）、所属施設名、同住所の和文および英文を各々別行に記す。著者は1名を原則とする。文献は文末に含めることができるが、表・写真・図を用いることはできない。これらの全てを1,000字以内（A4判2頁以内）にまとめる。

(2) 掲載の可否は編集委員会にて決定する。なお、投稿内容に関連して当事者ないし第三者の意見の併載が必要であると本委員会が認めた場合には、本委員会より該当者に執筆を依頼し、併列して編集することがある。

7) 英文投稿の場合

A4縦にダブルスペースで10頁以内とする。

和文抄録を付し、図・表その他は和文の場合に準ずる。

5. 別 刷

別刷を希望するときは、校正時に部数を明記して申し込む。

6. 論文の審査

投稿論文は編集委員会での審査により採否を決定し、その結果を筆頭著者に通知する。審査にあたっては査読制をとる。原稿の組体裁、割付は編集委員会に一任する。

7. 校 正

著者校正は原則として初校において行う。出版社から送付された校正は、必ず3日以内に返送する。校正担当者が筆頭著者以外の時は、校正の責任者と送り先を投稿時に明記する。校正では間違いを訂正する程度とし、原稿にない加筆や訂正は行えない。

8. 掲 載 料

出来上がり4頁までを無料とし、超過頁の掲載料は著者負担とする。白黒写真製版代およびカラー写真印刷代は無料とするが、その他の図版費（図の製版代）、英文校正料、別刷代は著者負担とする。また、邦文論文の英文校正料と別刷代については半額免除とし、英文論文の場合は図版費を含めて掲載料を免除する。

9. 依頼原稿

依頼原稿は、総説または原著の形式とし、査読を必要とせず、著者校正を行う。依頼原稿の著者は、日本臨床細胞学会会員に限らない。図・表・写真に関しては、和文での作成を許容する。また掲載料に関しては全額免除とする。

10. 本規定の改定

投稿規定は改定することがある。

(平成4年6月一部改定)	(平成23年8月一部改定)
(平成6年6月一部改定)	(平成24年4月一部改定)
(平成9年6月一部改定)	(平成26年5月一部改定)
(平成11年6月一部改定)	(平成26年11月一部改定)
(平成21年5月一部改定)	(平成26年12月一部改定)
(平成21年6月一部改定)	(平成27年3月一部改定)
(平成21年11月一部改定)	(平成29年1月一部改定)
(平成22年4月一部改定)	(平成29年11月一部改定)
(平成22年9月一部改定)	(平成30年11月一部改定)
(平成23年3月一部改定)	(平成31年3月一部改定)

添付1 Acta Cytologica への投稿について

投稿規定は www.karger.com/acy に明記されていますのでこれに従って下さい。従来は国内での査読を行っていましたが、直接投稿していただくことになりました。

添付2 以下の2項目は毎年1号に掲載する。

・ヘルシンキ宣言

・人を対象とする医学系研究に関する倫理指針

平成26年12月22日

平成29年2月28日一部改正

NOTICE TO CONTRIBUTORS

1. Authorial responsibility :

All authors of this journal including coauthors must be members of the Japanese Society of Clinical Cytology. However, except for whom (within 2 authors) involved in the diagnosis, treatment, and so on.

2. Categories of articles published :

- 1) The categories of articles published in this journal are *review articles*, *original articles*, *investigation reports*, *case reports*, *special articles*, *brief notes*, and *reader's voices*.
- 2) The submitted articles should contribute to the advancement of clinical cytology and must be submitted exclusively to this journal.
- 3) Authors must observe the Declaration of Helsinki (recommendations for physicians conducting biomedical studies in humans) and the Ethical Guidelines for Medical and Health Research Involving Human Subjects (Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology, Ministry of Health, Labour and Welfare, March, 2015), including privacy protection.

* These guidelines appear in the first issue of the journal.

- 4) Copyright for articles published in this journal will be transferred to the Japanese Society of Clinical Cytology, and the authors must agree that the articles will be published electronically by the Society. The authors are permitted to post the title, affiliations, authors' names and the abstract of their article on a personal website or an institutional repository, after publication.
- 5) All authors will be required to complete a conflict of interest disclosure form as part of the initial manuscript submission process. The corresponding author is responsible for obtaining completed forms from all authors of the manuscript. The form can be downloaded from (<http://jscc.or.jp/coi/>) The statement has to be listed at the end of the text.

3. Submission style :

- 1) As a general rule, manuscripts should be submitted electronically.
- 2) For initial submission, please access the site below.

(<https://www.editorialmanager.com/jjscc/>)

4. Instructions for manuscripts :

1) Text and writing style

- (1) Manuscript is to be written in Japanese or English.
- (2) Hiragana, daily use kanji and contemporary Japanese syllabic writing should be used, except for proper nouns and generally used technical terms. English manuscripts should be prepared essentially in the same manner as Japanese manuscripts.
- (3) Weights and measures are expressed in CGS units (cm, mm, μm , cm^2 , ml, l, g, mg, etc.).
- (4) Names of non-Japanese individuals, drugs, instruments / machines, or diseases that have no proper Japanese terms, academic expressions and scientific terms are to be written in the original language. Upper case letters should be used only for proper nouns and the first letter of German nouns.
- (5) Medical terms should be in accordance with the "Saibou-shinn yougo kaisetsu-syu (Handbook of cytological terminology)" edited by the Japanese Society of Clinical Cytology. Abbreviations of medical terms may be used, but the terms should be spelled out in full at their first occurrence in the text and the use of abbreviations is to be mentioned.

2) Manuscript preparation

Manuscripts are to be prepared using a word processor on vertical A4-size paper, with 25 characters per line and 20 lines per page. The top, bottom and side margins should be approximately 30 mm, and paragraphs left-justified. Twelve point or larger font size is preferable.

3) Electronic files

The following electronic file formats are recommended.

Word, WordPerfect, RTF, TXT, LaTeX2e (English only), AMSTeX, TIFF, GIF, JPEG, EPS, Postscript, PICT, PDF, Excel, PowerPoint.

A minimum resolution of 300 dpi size is required for photographs for publication.

- 4) Style of *review articles*, *original articles*, *investigation reports*, *case reports* and *brief notes*.

(1) Manuscript format

The parts of the manuscript are to be presented in the following order : Title page, abstract, key words, text, conflict of interest disclosure, English abstract, references, photographs, figures and tables. The pages of the manuscript should be numbered consecutively. The number of revisions (initial submission, first revision, etc.), the category of paper (*original article*, *case report*, *brief note*, etc.), Japanese title (not exceeding 50 characters), name (s) of author (s), authors' affiliations, address for reprint requests, and agreement of copyright transfer and early publication must be clearly written on the title page (the first page).

The abstract and key words are to be written on the second page. There should be a separation between the abstract and the start of the text.

(2) Authors

Authors will be limited to persons directly involved in the research. The number of authors is to be as follows, and other persons involved should be mentioned in the *Acknowledgments* section at the end of the paper.

Original articles : no more than 12

Investigation reports : no more than 10

Case reports : no more than 10

Brief notes : no more than 6

Review articles : just one author, as a general rule

(3) Abstract

The text of the abstract should not exceed 500 characters, except for *brief notes*, and the headings should be comprised of the following.

Original articles and *Investigation reports* : Objective, Study Design, Results, Conclusion

Case reports : Background, Case (s), Conclusion

Review articles and *special articles* : headings are to be selected according to content.

(4) Key words

No more than 5 key words indicative of the content of the paper are to be supplied. As a general rule, the first term usually indicates the subject, the second term, the method, the third term and beyond, the content.

[Titles followed by examples of appropriate key words in parentheses]

Examples of Key words :

– Gallbladder aspiration cytology — Cytological and histological findings in four cases of gallbladder cancer — (Gallbladder, Aspiration, Cancer, Morphology)

– A review of hepatocellular carcinoma (Hepatocellular carcinoma, Morphology, Review)

– A rare case of ovarian clear cell adenocarcinoma cells detected in sputum (Clear cell adenocarcinoma, Cytology, Sputum, Metastasis, Case report)

(5) Text and page limitations

a. *Original articles*, *review articles*, and *investigation reports* :

The manuscript should not exceed 10,000 characters (20 pages of A4 size), including text and references.

Figures and tables (exclusive of photographs) should not exceed 10 pages. There are no restrictions on the number of photographs, but the minimum necessary should be submitted.

b. *Case reports* :

The manuscript should not exceed 6,000 characters (12 pages of A4 size), including text and references.

Figures and tables (exclusive of photographs) should not exceed 5 pages. There are no restrictions on the number of photographs, but the minimum necessary should be submitted.

c. *Brief notes* :

A brief note should not exceed two printed pages.

No more than two photographs (or combinations of no more than two photographs) and one figure or table can be included.

If two pictures and one figure or table are included, text (I. Introduction ...) and references should be approximately 1,500 characters (3 pages of A4 size).

(6) English abstract

An English translation of the title, authors' names in Roman letters, authors' affiliations in English, and English abstract should be given on a page separate from the text. The authors' degrees/qualifications are to be written after their names using

the following abbreviations.

For physicians : MD ; MD, MIAC ; MD, FIAC.

For dentists : DDS, with other degrees or qualifications abbreviated the same as for physicians.

For clinical laboratory technologists : MT ; CT ;

JSC ; CT, IAC ; CT, CMIAC ; CT, CFIAC.

The text of the abstract should not exceed 200 words (exclusive of the title, authors' names and affiliations), and the following headings are to be used.

Original articles and *Investigation reports* : Objective, Study Design, Results, Conclusion

Case reports : Background, Case (s), Conclusion

Review articles : headings should be selected according to their content.

Brief notes : abstracts for brief notes should consist of no more than 100 words and no headings are to be used.

(7) References

- a. Only major references are to be listed.

Original articles, special articles, and investigation reports : no more than 30 titles

Case reports : no more than 15 titles

Brief notes : no more than 5 titles

Review articles : no limit

- b. References are to be listed in the order in which they appear in the text, and indicated by superscript numbers in the text.
- c. The references should be listed in the Vancouver style, and the journal abbreviations in Japanese and English references according to the Japan Medical Abstracts Society and Index Medicus, respectively. Examples are shown below.

For journals :

Name (s) of the author (s) (full names for Japanese names ; for European names, surnames of the first 6 authors spelled out, with initials for the rest of the name, and other authors' names abbreviated "*et al*"). Title (full title should be given). Name of the journal (space) Year of publication ; Volume ; Page numbers.

For books :

Name (s) of the author (s). Title. Place of

publication : Name of the publisher ; Year of publication (If a citation is just one part of an independent book, the title should be followed by the name of the editor, the title of the book, and the year of publication). Page numbers.

If figures and tables from another author's work are used in the article, permission for publication, including electronic publication, must be obtained from the original author (or organization), and the documents certifying this permission must be attached.

(8) Figures, tables and photographs

- a. Figure and table titles are to be written in English. Photographs, figures and tables are to be numbered thus : Photo. 1, Fig. 1, Table 1, etc. Provide simple titles and explanations in English.
- b. Clearly state where the photographs, figures and tables should be positioned in the text.
- c. Magnifications are to be stated for micrographs. The magnification of the objective lens at the time the photograph was taken will be used as the magnification for photomicrographs (photographs of cells or tissues). Authors are recommended to use scale bars in the photograph. For electron micrographs, the magnification at which the photograph was taken should be stated or scales included in the photograph.

5) Style of special articles

Special articles are composed of several papers (*original articles* or *reviews*) on a single topic. The planners of *special articles* need to prepare the title of the whole special issue (in Japanese and English) and a synopsis (equivalent to an introduction) of no more than 1,200 characters. The style of *special articles* should be the same as for *original articles* and *review articles*.

6) Reader's voices

Submissions which do not fit the above-described categories for scientific papers, including opinions on papers already published in the journal, the operation and activities of the Japanese Society and Clinical Cytology, are also published, but only if they have not been presented elsewhere. Submissions should be in accordance with the following prescribed form and procedure.

- (1) The title is not to exceed 50 characters, and a corresponding English title should be provided.

The text should be started on a new line.

At the end of the text, the name (s) of author (s) (with the authors' qualifications), institutional affiliations and addresses should be written in Japanese and English on separate lines. As a general rule, there should be just one author. References can be added at the end, but no tables, pictures and figures. All of the above should be no more than 1,000 characters (no more than 2 pages of A4 size).

- (2) The editorial board will decide whether a submission will be published. If the Committee finds it necessary to also publish the opinion of a person referred to in the manuscript or a third party in regard to the content of the paper submitted, the Committee will request that the person concerned write it, and the two will be published together.

7) English manuscripts

English manuscripts are to be written double-spaced on A4 paper, and should not exceed 10 pages.

A Japanese abstract should be provided, and figures, tables, etc. are to be prepared in the same manner as the Japanese manuscript.

5. Reprints :

When reprints are desired, the author should state the number of copies to be ordered when returning the first galley proof.

6. Review of the manuscript :

Whether a manuscript submitted for publication will be accepted is determined by a review conducted by the editorial board, and the first author will be notified of the results. The referee system is used to conduct these reviews. The editorial board will be responsible for the layout and format used in printing the manuscript.

7. Proofreading :

The publisher will send the first galley proof to the first author, who should check and return it within three days. When the person responsible for proofreading is someone other than the first author, the person's name and address must be clearly stated when the manuscript is submitted. Only errors can be corrected on proofs. Nothing that is

not already in the manuscript can be added or corrected.

8. Publishing fee :

Authors will be charged for space in excess of 4 printed pages. There will be no charge for the cost of printing black-and-white and color photographs. However, authors will be charged for plate making for figures other than photographs, English proofreading and reprints. In addition, half the charges for English proofreading and reprints of Japanese articles will be waived, and the publishing fees, including plate making charges, for English articles will be waived.

9. Revision of these rules :

The rules for submitting manuscripts may change.

(Partial revision June 1992)
 (Partial revision June 1994)
 (Partial revision June 1997)
 (Partial revision June 1999)
 (Partial revision June 2009)
 (Partial revision November 2009)
 (Partial revision April 2010)
 (Partial revision September 2010)
 (Partial revision March 2011)
 (Partial revision April 2012)
 (Partial revision May 2014)
 (Partial revision November 2014)
 (Partial revision December 2014)
 (Partial revision March 2015)
 (Partial revision January 2017)
 (Partial revision November 2018)
 (Partial revision May 2019)

Appendix 1. Submission of manuscripts to *Acta Cytologica*

Please go the new *Acta Cytologica* website ([www.karger.com / acy](http://www.karger.com/acy)) and read guidelines for manuscript submission. Submission of manuscripts to the Japanese Editorial Office for preparatory review has been abolished.

Appendix 2. The following 2 items will appear in the first issue of every year.

- Declaration of Helsinki
- Ethical Guidelines for Medical and Health Research Involving Human Subjects
March, 2015

日本臨床細胞学会編集委員会 (令和元年～3 年)

委員長: 矢納 研二					
担当理事: 大平 達夫	竹島 信宏	三上 芳喜			
委員: 伊藤以知郎	河原 明彦	九島 巳樹	黒川 哲司	近藤 英司	品川 明子
田中 良太	長尾 俊孝	二村 梓	野村 秀高	則松 良明	廣川 満良
古田 則行	前田 宜延	的田 眞紀	棟方 哲	柳井 広之	
幹事: 大沼 利通	西川 武				
査読委員: 青木 裕志	明石 京子	明瀬 光里	秋葉 純	浅見 志帆	阿部 仁
阿部 彰子	阿部 英二	安倍 秀幸	新井 正秀	荒木 邦夫	有田 茂実
有廣 光司	有安 早苗	五十嵐 誠治	伊倉 義弘	池上 雅博	池田 聡
池田 純一郎	池田 徳彦	池畑 浩一	池本 理恵	伊古田 勇人	石井 真美
石岡 伸一	石川 雄一	石田 和之	出馬 晋二	磯西 成治	井谷 嘉男
市村 友季	伊東 恭子	伊藤 崇彦	伊藤 雅文	稲垣 宏	稲山 嘉明
井野元 智恵	今井 裕	今井 律子	今野 元博	今村 好章	井村 穰二
入江 準二	岩崎 雅宏	岩瀬 春子	岩田 卓	岩屋 啓一	上田 和
宇佐美 知香	碓井 宏和	臼田 実男	内田 克典	内山 智子	宇津木 久仁子
梅澤 敬	浦野 誠	卜部 理恵	卜部 省悟	江口 正信	蝦名 康彦
遠藤 浩之	小穴 良保	及川 洋恵	大石 徹郎	大井 恭代	大金 直樹
大亀 真一	大久保 文彦	大崎 博之	大崎 能伸	大城 久	太田 善夫
大谷 博	大塚 重則	大沼 利通	大野 喜作	大橋 隆治	大原 樹
大森 真紀子	岡 輝明	小賀 厚徳	岡田 真也	緒方 衡	岡 俊郎
岡部 義信	岡本 聡	岡本 三四郎	岡本 吉明	小倉 豪	小椋 聖子
刑部 光正	尾崎 敬	尾崎 聡	小田 義直	小野里 香織	小野瀬 亮
尾松 公平	小山 徹也	甲斐 敬太	利部 正裕	垣花 昌俊	覚野 綾子
笠井 孝彦	笠松 高弘	梶原 直央	梶原 博	加勢 宏明	片岡 竜貴
片岡 史夫	片山 博徳	香月 奈穂美	加戸 伸明	加藤 拓	加藤 一喜
加藤 智美	加藤 友康	門田 球一	金尾 祐之	金山 清二	金山 和樹
金子 千之	鹿股 直樹	神尾 多喜浩	鴨井 青龍	川崎 隆	川崎 朋範
川瀬 里衣子	川名 敬	河野 光一郎	河野 哲也	河原 邦光	河村 憲一
川村 直樹	神田 浩明	菊池 朗	木佐貫 篤	岸野 万伸	鬼島 宏
岸本 浩次	北澤 理子	北澤 莊平	木下 勇一	木村 文一	喜友名 正也
清川 貴子	草薙 宏有	草野 弘宣	久慈 志保	串田 吉生	工藤 明子
久布 白兼行	熊木 伸枝	久山 佳代	黒瀬 圭輔	黒田 敬史	黒田 直人
黒田 一	孝橋 賢一	小材 和浩	小島 淳美	小塚 祐司	小林 佑介
小林 裕明	小林 博久	小林 陽一	小宮 山慎一	小山 芳徳	近藤 哲夫
近内 勝幸	齋藤 生朗	嵯峨 泰	坂谷 貴司	坂本 優	佐川 元保
桜井 孝規	佐々木 陽介	佐々木 素子	笹野 公伸	佐治 晴哉	佐藤 誠也
佐藤 正和	佐藤 美紀子	佐藤 慎也	佐藤 康晴	佐藤 由紀子	郷 久晴朗
澤田 達男	塩澤 哲	澁木 康雄	渋谷 秀美	澁谷 潔	渋谷 信介
島田 宗昭	島田 啓司	清水 和彦	清水 健	清水 道生	清水 禎彦
下釜 達朗	白石 泰三	白波 瀬浩幸	菅井 有	須貝 美佳	杉田 好彦
杉山 裕子	酒々井 夏子	鈴木 雅子	鈴木 淳	鈴木 直	鈴木 正人

鈴木美和	関田信之	芹澤昭彦	園田顕三	駄阿勉	多比良朋希
高倉聡	高瀬頼妃呼	高田恭臣	高野忠夫	高野浩邦	高野政志
高橋顕雅	高橋芳久	高橋恵美子	鷹橋浩幸	高松潔	田口雅子
田口健一	竹井裕二	武田麻衣子	竹原和宏	田尻琢磨	橘啓盛
楯真一	田中京子	田中綾一	田中一朗	田中尚武	田中浩彦
棚田諭	谷川輝美	谷口智子	谷山清己	田沼順一	田原紳一郎
玉手雅人	田丸淳一	千酌潤	塚田ひとみ	辻村亨	津田均
土田秀	筒井英光	角田肇	寺井義人	寺田倫子	寺畑信太郎
寺本典弘	寺本瑞絵	土居正知	田路英作	徳田雄治	渡具知克
徳永英樹	戸澤晃子	栃木直文	富永英一郎	豊田進司	鳥居貴代
内藤子来	内藤嘉紀	永井雄一郎	中泉明彦	中尾佳史	長阪一憲
長坂徹郎	中山富雄	中澤久美子	長嶋健	永瀬智美	中塚伸一
仲村勝	西山憲一	中山宏文	中山淳	南部雅美	新倉仁
西川鑑	西山靖史	錦見恭子	西田直代	西野幸治	西村理恵子
西森誠	野本靖一郎	布引治	野澤真由	能登原憲司	野中道子
野村弘行	馬場洋一郎	橋口真理子	長谷川清志	秦美暢	畑中一仁
服部学	原由紀子	羽原利幸	濱川真治	林茂徳	林真也
林俊哲	樋口佳代子	原田憲一	坂東健次	阪埜浩司	東田太郎
東美智代	廣井禎之	飛田陽	秀島克巳	平沢晃	平田哲士
平林健一	藤井丈士	廣島健三	廣田誠一	福島万奈	福島裕子
福屋美奈子	古田玲子	藤田茂樹	伏見博彰	藤山淳三	藤原寛行
二神真行	堀由美子	古旗為霞	星利良	星田義彦	細根勝太
堀江香代	町田知久	彭井成明	前田純一	前田ゆかり	増田健宏
増田しのぶ	松田勝也	松永徹	松浦基樹	松澤こず恵	松下二
松田育雄	松山篤二	丸喜明	松林純司	松本光司	松本慎弘
松元隆之	水野美香	三橋暁	丸川活司	丸田淳子	三浦弘守
三浦弘之	宮井朋幸	宮城淳一	三宅真司	南優子	南口早智子
三宮嶋	宮本徹	村田晋一	村田哲也	三宅康之	宮崎龍彦
物部泰昌	森定徹	森下由紀雄	森康浩	望月紀英	元井亨
安岡弘直	安田政実	矢田直美	柳田聡	森村豊	八重樫伸生
山上亘	山口知彦	山口浩	山口倫	矢野恵子	矢野博久
山田隆司	山田隆人	山田麻里沙	山田恭輔	山崎奈緒子	山下博
山元英崇	山本晃彦	矢持淑子	横井豊治	横尾英明	山田範幸
横山俊朗	吉岡剛一	吉田勤	吉田浩一	吉野潔	横瀬智之
米田操	米山剛一	梁善光	和田直樹	渡部洋	吉見直己
渡辺寿美子	渡邊みか				渡邊純

(50音順)

令和元年九月二十二日発行

編集兼
発行人

公益社団法人

日本臨床細胞学会
代表者 矢 納 研 二

〒100-0061 東京都千代田区神田駿河台二丁目一
番一
駿河台サンライズビル三階
発行所 公益社団法人 日本臨床細胞学会

電話〇三(五五七七)四六八〇 振替〇〇一〇一〇一三三五四五